

令和6年8月24日発行

～友和地区コミュニティ推進協議会の抜本的な見直し関連

—第4報—

1 臨時総会を終えて

8月4日（日）午前10時～12時15分の間、友和市民センターの多目的ホールにおいて、自治会等及び関連団体の代表者出席のもと、友和地区コミュニティ推進協議会（以下、『コミュ協』）の抜本的な見直しについての説明会・意見交換会、臨時総会を開催しました。

臨時総会は、コミュ協の抜本的な見直しを踏まえた今年度予算の組み替えについてと、これに関連した市のまちづくり交付金に関わることの二つの議案について、であり、それぞれ可決・承認されました。

(1) 議案の一つ目は、今年度予算の組み替えの承認を求めたものです。

コミュ協は、『まちづくり』の基本は、「安全・安心で明るく持続性のある地域づくり」にあるとの原点に立ち返ります。

災害発生時など、共助などの観点から実効性のある活動が期待できるのは単位自治会等や更にはその中の班といった小さな組織です。このような視点から、単位自治会等の主体的な取り組みへの期待と、これを後押しするため、敬老事業に関わる費用を単位自治会等への配分に組み替えました。

なお、この予算組み替えは、敬老事業を軽視したものではありません。敬老事業を実施するか否かは、各自治会等がそれぞれの状況や事情に応じて主体的に対応してください。

予算の組み替えの概要は、次のとおりです。

- | |
|--|
| <p>①敬老事業費を単位自治会等への配分に組み替えるのが主な変更です。</p> <p>②関連団体の予算は、予備として増額しています。新たな活動等にも対応できます。</p> <p>③学校支援では小学校だけでなく、中・高も加えています。予算額としては竹炭関連が無くなったので、実質的にはかなりの増額です。</p> <p>④自主防災の予算は、不公平感が出ないように今までの整備状況の確認後に処置します。</p> <p>⑤余剰金が生じた場合は次年度に繰り越します。
(交付金の使い切り、返金はしません。)</p> |
|--|

(2) 議案の二つ目は、コミュ協の運営とまちづくり交付金の事務処理が両立できない場合は、若い役員の人たちで地域を支えていくことを優先し、まちづくり交付金は不要として市の交付対象団体から離脱しようというものです。

まちづくり交付金は公費であるがゆえに、やむを得ないことですが、使い方は細分化され、これに関わる事務処理も複雑です。役員にとりまして、この処理に関わるこ

とがとても負担になります。これからのコミュ協を支える役員は、思い切った若返りを図り、地域全体の将来を見据えた活動に視点を置こうとしています。そしてこれらの皆さんは、フルで仕事に就き、子育てなどにも忙しい人たちになります。交付金の事務処理等に振り回されることになれば、役員を引き受けた意義も失われます。

2 来春の定例総会までに予定する意見交換会等・臨時総会

■9月8日(日)午後2時~4時の間

自治会・町内会の代表者の方々との情報交換会を友和市民センター2階の視聴覚室において開催します。ご都合のつく代表の方(代理も可)はご参加ください。

この情報交換会は、先般の臨時総会において、自治会等の代表のお一方から、『他の自治会等は会の運営にあたりどのような取り組みをされているか分からない。情報収集や連携も図りたいのでコミュ協でそのような場を作ってほしい。』とのご発言を受けたことを踏まえ、スピード感をもった開催です。

なお、各代表の方々のご都合や様々な分野の項目があることから、今後継続して情報交換会などの場を設けることとします。

前号のコミュ協便りでお知らせした「負担の軽減」、「ゆるやかな繋がり」の視点を中心に計画します。

以下は、前号でお知らせしたことですが、10月下旬ごろの開催としていた意見交換会の日時が確定しましたので改めて記載します。

■9月8日(日)午前10時~12時の間

地域の皆さん全員を対象にした意見交換会を友和市民センターの多目的ホールにて開催します。多くの方々のご参加を希望しています。お気軽にお越しください。

■10月27日(日)午前10時~12時

自治会等及び関連団体の代表者の方々を対象にした、今後のコミュ協(新組織)の運営の基本的な考え方、これを踏まえた規約改定の方針性、予算案作成についての大まかな枠組みについての意見交換会を開催します。

■11月下旬ごろ

年明けの1月からは自治会等の総会が逐次開催されることから、これに先がけて規約の改定及び概算の予算案をお示しするための臨時総会を開催する予定です。自治会等や関連団体等が来年度の活動計画を作られる際に、必要な事項を反映していただけるようにします。

3 防災関連の情報発信について

友和市民センターだよりの一コマを継続的に使わせていただき、QRコードによる情報発信を実施する準備をしています。

南海トラフ巨大地震も気になるころであり、まずは大規模停電が発生し、一週間の停電を想定した予想される状況と生活に及ぼす影響、必要な準備などを順次発信してまいります。